

静岡県議会議員

田口 章

後援会
だより

お気軽にどうぞ
昼 053-447-3820
夜 053-440-7100

平成 23 年 8 月 1 日

創ろう！元気な浜松&静岡県

静岡県の危機管理

震災被害に続き豪雨災害もあり、自然の脅威を思い知らされています。今月号は地震対策を中心に静岡県の危機管理施策を調べました。その中からいくつかのポイントをご紹介します。

1. 県の組織体制

平成 22 年度、総務部危機管理局を危機管理部として独立しました。

危機管理監は、本部長（知事）代理として全庁の統括、調整を行い、危機事案に対処する役割を担っています。

マンパワーは、本庁に「危機政策課」など 7 課 73 人。出先機関として伊豆・東部・中部・西部の「地域危機管理局」など 6 ヶ所に 67 人を配員。計 140 人体制で危機事案に備えているほか、日常の防災対策などにあたっています。

県庁内には「静岡県危機管理センター」を常設しており、いつでも県内全域の情報を把握できるシステムを構築しています（右の写真は「情報統制室」）。

2. 総合計画と危機管理

ほとんどの地方自治体は「総合計画」



に基づき行政運営を行っています。

静岡県はその「基本計画」のイの一番に「命を守る危機管理」をあげています。

このような自治体はほとんどなく、静岡県が危機管理にかける意気込みが伝わってきます。

【参考：「基本計画」の戦略体系】

○「命」を守る危機管理

- ◆ “ふじのくに” の徳のある人材の育成
 - 「有徳の人」づくり
 - 「憧れ」を呼ぶ “ふじのくに” づくり
- ◆ “ふじのくに” の豊かさの実現
 - 一流の「ものづくり」と「ものづかい」の創造
 - 「和」を尊重する暮らしの形成
 - 「安心」の健康福祉の実現
- ◆ “ふじのくに” の自立の実現
 - ヒト、モノ、地域を結ぶ「基盤」づくり
 - 「安全」な生活と交通の確保
 - 地域主権を拓く「行政経営」

3. “ふじのくに”危機管理計画

県は、総合計画「基本計画」の中で、新たに“ふじのくに”危機管理計画を策定することとし、6月に大原則を定めた危機管理計画「基本計画」を策定しました。

ここでは、さまざまな危機事案に対する平時からの「危機管理システム」や応急対策時の「意思決定システム」などを統一化するとともに、応急対策要員の留意点などを記載し、基本的な対応が実行できるように構成されています。

今後、「基本計画」に基づき、下記のとおり危機事案ごとの「個別計画」を策定し、具体的な対応事項を定めることとしています。

【参考：「危機管理計画」の構成】

- ◎地域防災計画編
 - ・共通対策の巻
 - ・地震対策の巻
 - ・津波対策の巻
 - ・原子力災害対策の巻
 - ・風水害対策の巻
 - ・火山災害対策の巻
 - ・大火災対策の巻
 - ・大規模事故の巻
 - 道路事故対策計画
 - 船舶事故対策計画
 - 沿岸排出油事故対策計画
 - 鉄道事故対策計画
 - 航空機事故対策計画
- ◎石油コンビナート等防災計画編
- ◎国民保護計画編
- ◎感染症対策編
 - ・新型インフルエンザ対策の巻
- ◎家畜伝染病対策編
 - ・高病原性鳥インフルエンザ対策
 - ・口蹄疫対策
- ◎食の安全対策編
 - ・大規模食中毒対策の巻
- ◎環境汚染対策編
 - ・大気汚染対策の巻

4. これまでの防災・減災対策

◆大規模地震対策特別措置法(S53)

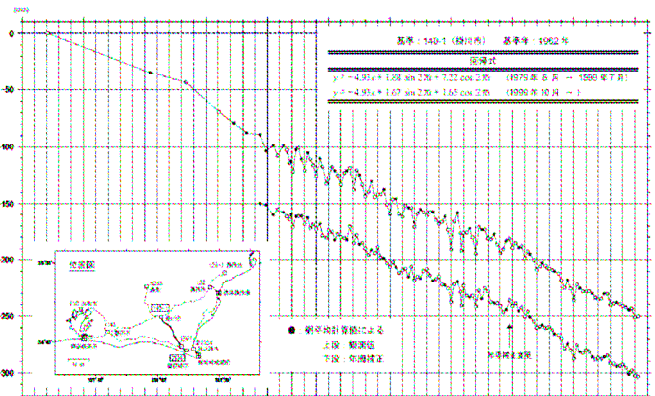
耐震化工事、緊急輸送路整備、がけ崩れ防止対策、避難地整備、津波対策、消防、通信など S55～H26 まで 35 年計画で約 2 兆円をかけて整備しています（写真は学校校舎の耐震化工事）。



◆地震予知観測体制

地震計、GPS、大深度ひずみ計など 485 施設でデータを観測しています。

見えにくいと思いますが、下のグラフは、掛川に対して御前崎が過去 48 年間で 25cm 沈降しているのを示しています。



◆情報システム

通信衛星を使用し、県と市町をネットワーク化しています。防災ヘリにより被災状況を映像で確認することもできます。

23 年度からデジタル化に着手、25 年度末に完成予定となっています。

◆プロジェクト「TOUKAI-0(トウカイ-ゼロ)」

阪神大震災の死者の 8 割以上が建物の倒壊や家具の転倒による圧死や窒息死と言われています。

県では、市町と連携して、平成 27 年度までに住宅耐震化率 90%をめざし、木造住宅への助成を行っています。

5. 発災時の対応

◆静岡県広域受援計画

救助・消火活動、医療活動、物資調達、輸送活動の4分野で受入計画を策定しています。

西部の拠点を東名 浜名湖 SA に、東部を足柄 SA に設置し東名・新東名の大動脈を活用して、他県からの応援部隊を展開する計画です（右下図）。

一方、今回の震災では物資支援体制の遅れが発災当初の課題でした。反省を踏まえ内容をチェックする必要があります。

◆消防防災航空体制

県では平成9年度に「消防防災航空隊」を設置。「防災ヘリコプター」が活動しています。

加えて政令市浜松市と静岡市にも「消防ヘリコプター」が配備されています。

また、浜松市の聖隷三方原病院、伊豆の国市の順天堂大学病院には「ドクターヘリ」が配備されています。

緊急対応可能なヘリコプターが5機もある県は珍しいのではないのでしょうか。

これに加えて航空自衛隊浜松基地もありますので、静岡県の消防防災航空体制は、かなり充実したものとと言えます。

◆災害ボランティアの受入と支援

県では、静岡県社会福祉協議会、ボランティア協会等と連携し、

「県災害ボランティア本部・情報センター」「災害ボランティア支援センター」を設置し、市町の圏域を越えた配置調整を行います。

今回も岩手県遠野市にあるボランティア支援組織「遠野まごころネット」を開設当初からサポートし、高い評価をいただいています。

6. 大切なのは日ごろの備え

東海地震に対する県の取り組みをいくつか紹介しましたが、大切なのは日ごろからの備えです。

来月9月1日は「防災の日」。8/30～9/5は防災週間です。防災訓練を行うところもあるでしょう（地域によっては12月第1日曜日の「地域防災の日」にやることもあります）。

みなさんもこの機に、訓練に参加するとともに、避難場所の確認や非常持ち出し袋など、日ごろの備えを見直してはいかがでしょうか。



★“自治体クラウド”を研究します

<「クラウドコンピューティング」の説明は、紙面の都合上割愛します>

国の「IT 戦略会議」は、昨年5月に「新たな情報通信技術戦略」を閣議決定しました。この工程表によると、2020年度までに50%の自治体で、クラウドを利用した電子行政を進めることとしています。50%で導入といえば、当然、静岡県も浜松市も導入していることとなります。

ところが、そんな準備ができていないとは、とても思えません。H21-22年度、北海道、京都府、佐賀県（+大分県・宮崎県・徳島県）の3カ所で「自治体クラウド」の実証実験が行われました。

「クラウド」を使うことで、コスト改善や業務効率化（標準化）など、さまざまな面で行財政改革にもつながります（県内35市町がそれぞれお金をかけてシステム設計をするよりも、共通化すれば当然安くできるということです）。

県が主導して県内市町の行政システムのクラウド化を進めることは、まさに広域行政の役割と言えます。まだこの程度しかお伝えする知識はありませんが、継続的に勉強して、県の体制づくりを進めます。

○最近のブログから「しらびそ高原」(7/15)



暑い日が続きますね。今日(7/15)は世間的にはウィークデーで、明日から三連休という人も多いでしょうね。

私は県議会閉会中、自動車業界も木金休みなので、今日は会社カレンダーに合わせて、お休みをいただきました。

ちょっとソコまで・・・と、久々にバイクに乗ったのですが、天気もよかったので、つつい南アルプスまで行っちゃいました。

写真は「しらびそ峠」。

標高 1833m まで来ると、気温も平地より 10℃ほど下がります。目の前には 3000m 級のスカイラインが広がっています。

ここにはたまに来ますが、ホントに気持ちいいツーリングスポットです(目の前にカモシカが飛び出してきたこともあります)。

涼やかな風と樹木の緑を肌で感じながら走る、クルマでは味わえないバイクならではの旅。癒されました。

【日々の活動はブログをご覧ください】

★創ろう！元気な浜松 & 静岡県

田口章 で検索

◎今年も開催

バイクのふるさと浜松 2011

8/20(土)・21(日) 浜松市総合産業展示館



自動車関連企業の土日移動の影響が懸念されますが、多くのバイクファンに集まってほしいものです。

3メーカーの電動スクーター試乗会も開催されます。

残念ながら四輪車の駐車場はありません。バイクでお出かけください。

←写真は 2009 年の会場風景

7月の活動報告

- 01(金) 本会議
浜松市制施行 100 周年式典
- 05(火) 産業委員会
- 06(水) 産業委員会
- 07(木) 川勝知事との意見交換会
自治体トップマネジメントセミナー
- 08(金) 入野地区自治連会議
- 11(月) 自動車総連政策コンベンション
- 12(火) 本会議、会派総会・政調会
- 13(水) 三方原学園訪問
- 16(土) スズキ友の会総会
浜松市行革審傍聴
- 21(木) 静岡県行革推進委員会傍聴
- 22(金) 会派街頭キャラバン(沼津・長泉)
- 23(土) 大平台夏まつり
- 24(日) 浜松西倫理法人会設立式
- 25(月) 富士山静岡空港視察
自治体クラウド研修
教組意見交換会
- 28(木) 自治体財政セミナー
航空自衛隊納涼祭
- 29(金) 自治体財政セミナー

8月の活動予定

- 03(水) 親子県議会
- 04(木) 教組意見交換会
- 05(金) 会派総会
- 07(日) 佐鳴湖クリーン作戦
- 08(月) 入野地区自治連会議
- 11(木)~12(金)
中山間地域振興視察(天竜区)
- 15(月) 平和祈念式
- 20(土)~21(日)
バイクのふるさと浜松 2011
- 23(火) 生産性本部セミナー(東京)
- 24(水)~25(木)
金属労協研修会(御殿場)

【あとがき】最近「Facebook」を始めました。

インターネットを使った新しい情報ツールがどんどん出てきますが、佐賀県の武雄市(たけおし)は、今日(8/1)から市のホームページを「Facebook」に切り替えるそうです。

クラウドコンピューティングの勉強も始めました。自治体の ICT 戦略は大きく変わってくる予感がします。

*ICT= Information and Communication Technology(情報通信技術)